

1 概 要

(1) 平成19年度業務の概要

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示する等により、府民の調査研究等の利用に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19年度の資料収集については、各方面の御協力により13,401冊(点)を受け入れ、館蔵資料の総数は574,834冊(点)となりました。

館の利用については、図書閲覧室51,267人、文書閲覧室2,623人、学習室27,924人の合わせて81,814人の利用がありました。また、館蔵資料の特別撮影・利用は217件、複写は13,626件、館外貸与は39件で、図書資料の相談件数は13,057件でした。

図書館間相互貸借については、府内の公共図書館等との間で貸出し87冊、借受け29冊、国立国会図書館からは1冊を借り受け、閲覧サービスを行いました。

展覧会は、秋に国宝指定10周年記念「第22回東寺百合文書展 - 日本史のなかの百合文書 - 」を、3月から4月にかけて企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」を開催したほか、夏には館蔵資料を紹介する「収蔵品展」を行い、入場者数は延べ4,870人でした。

特定のテーマに関する図書や雑誌を集め、所蔵する図書資料を広く紹介する「資料紹介コーナー」を年間6回設置しました。

講座は、平成14年度に開始した「総合資料館府民講座」を年間7回開催し、761人の受講がありました。また、第6回「古文書解読講座」を開催し、246人の受講がありました。古文書相談は13件の相談を受けました。

編集刊行した出版物は、「資料館紀要」第36号、展覧会図録「第22回東寺百合文書展 - 日本史のなかの百合文書 - 」などでした。

外部機関と連携した様々な活動も行いました。平成13年度から府立大学文学部史学科との間で共同研究を行っています。平成17年度から実施している科研費研究は最終年度を迎え、公開シンポジウム「未来への遺産 - 重要文化財「京都府行政文書」の保存と活用 - 」を開催しました。また、平成12年度から平成17年度にかけて実施した「京都府20世紀資料整理事業」を受け、府内各地域の地域資料の保存と活用について理解を深めるために、地域資料保存・活用担当者会議を開催しました。

平成18年度に引き続き、総合資料館が所蔵する古典籍について、府立大学文学部教員及び当館職員がわかりやすく解説する「古典籍をあじわう 総合資料館の書庫から」と、知られているようで意外に知られていない、京都を舞台とした歴史の話を、所蔵資料を使って当館職員が紹介する「雑学京都史」を京都新聞に連載しました。

また、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえた「今後の資料館のあり方」について検討する外部有識者等による検討委員会を設置し、総合資料館の果たすべき役割・機能の方向性を示す「総合資料館あり方検討プラン」を策定しました。

利用者等の状況(平成19年度)

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開 館 日 数	320 日	総合資料館府民講座	761 人
閲覧室等利用者数	81,814 人	古文書解読講座	246 人
図書閲覧室	51,267 人	古文書相談	13 件
文書閲覧室	2,623 人	展 覧 会	4,870 人
古文書	964 人	資料の特別撮影・利用 (管理委託現物資料を含む)	217 件 388 点
行政文書	1,019 人		
写真資料	36 人	資料の複写 (電子式複写・マイクロ複写等)	13,626 件 345,457 枚
近代文学資料	9 人		
その他	595 人	資料の館外貸与 (管理委託現物資料を含む)	39 件 130点(冊)
学 習 室	27,924 人		
図書の書庫出納冊数	63,688 冊	京都北山アークス*	133 人
図書資料の相談件数	13,057 件		

1 図書資料については、冊数で算出

館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成19年度受払状況							累計 (平成20年3月 31日現在)	
	受 入					払 出	計		
	購 入	寄 贈	取 得	保管 移 引渡等	計				
図書	図書資料	1,003	2,309	1,732	-	5,044	-	5,044	338,695 冊
資料	その他 ¹	-	-	-	-	-	-	-	2,446 点
(文獻課)	小 計	1,003	2,309	1,732	-	5,044	-	5,044	341,141冊(点)
文書	古文書 ³	(1) 1	(4) 2,167	(1) 7	-	(6) 2,175	-	(6) 2,175	(553) 83,910 点
資料	行政文書	-	-	1	6,185	6,186	20 ⁸	6,166	67,713 冊
(歴史	写真資料	-	-	-	-	-	-	-	(14) 6,768 点
資料課)	近代文学資料	-	6	-	-	6	-	6	(2) 23,788 点
	その他 ⁵	-	-	-	-	-	-	-	256 点
	小 計	1	2,173	8	6,185	8,367	20	8,347	182,435 点
管理委託	美術工芸資料	-	10	-	-	10	-	10	9,359 点
現物	歴史民俗資料	-	-	-	-	-	-	-	18,726 点
資料	その他 ⁷	-	-	-	-	-	-	-	23,173 点
	小 計	-	10	-	-	10	-	10	51,258 点
	合 計	1,004	4,492	1,740	6,185	13,421	20	13,401	574,834冊(点)

1 レコード、版木ほか。

2 文書資料欄の()内の数字は、各資料の固まりを示す文書群等の件数である。

3 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

4 資料整理による増減である。

5 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

6 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

7 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

8 移管文書の返還。

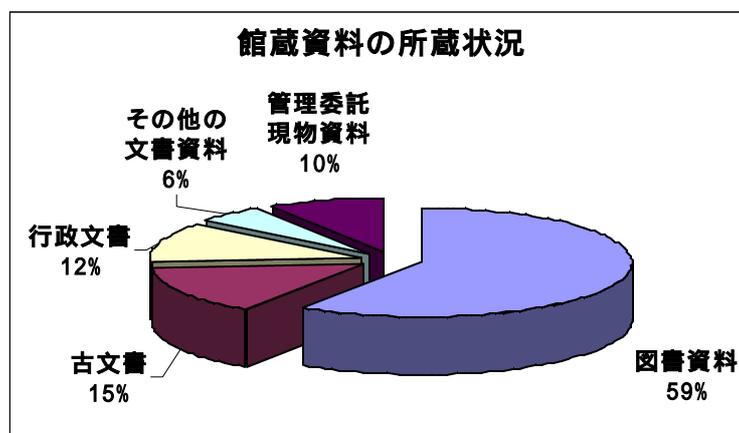
寄託資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成19年度受払		累計(平成20年3月31日現在)	
		受入	返還	件数	点数
図書資料 (文献課)	図書資料	-	-	-	-
	その他	-	-	1件	3点
	小計	-	-	1件	3点
文書資料 (歴史資料課)	古文書	(1)6,497	-	22件	21,948点
	行政文書	-	-	-	-
	写真資料	-	-	3件	1,517点
	近代文学資料	-	-	2件	1,149点
	その他	-	-	-	-
	小計	6,497	-	27件	24,614点
管理委託現物資料	美術工芸資料	-	1件	7件	105点
	歴史民俗資料	-	-	5件	227点
	その他	-	-	-	-
	小計	-	1件	12件	332点
合計		-	-	40件	24,949点

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成19年度収集			累計(平成20年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	2	1	1	556	1,388	2,205
行政文書	-	-	160	10	84	1,043
合計	2	1	161	566	1,472	3,248

行政文書のマイクロフィルム、写真帳の数値の増加については、未整理資料の整理による。



2 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

ア 図書資料（文献課）

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物（写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。）及びこれに準ずる資料

イ 文書資料（歴史資料課）

古文書（古代・中世文書、近世・近代文書）、行政文書、写真資料、近代文学資料及びこれに準ずる資料

ウ 管理委託現物資料（財団法人京都文化財団に委託）

美術工芸資料、歴史民俗資料等の現物資料

(1) 図書資料

ア 図書

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです

区 分	購 入	寄 贈	取 得 等	計	
京 都 資 料	353冊	943冊	565冊	1,861冊	
人 文 資 料	223	585	131	939	
官庁資料	京 都 関 係	72	283	681	1,036
	国・他府県	355	498	355	1,208
合 計	1,003	2,309	1,732	5,044	

そのうちの主な資料は、以下のとおりです。

(ア) 京都資料

書 名	著 編 者 名 等	備考
皇太后の山寺 山科安祥寺の創建と古代山林寺院	上原真人編	購入
平安京の住まい	西山良平・藤田勝也編著	
京都の門前町と地域自立	河村能夫編著	
八瀬童子 歴史と文化	宇野日出生著	
山間荘園の地頭と村落 丹波国和知荘を歩く	藤木久志・小林一岳編	
丹後地域史へのいざない	上田純一編	
天橋立物語 その文化と歴史と保全	岩垣雄一著	
京都地図絵巻	植村善博・香川貴志編	
京都宇治川探訪 絵図でよみとく文化と景観	鈴木康久・西野由紀編	
近世京都の歴史人口学的研究 都市町人の社会構造を読む	浜野潔著	
京文化と生活技術 食・職・農と博物館	印南敏秀著	
祇園祭と戦国京都	河内将芳著	
對龍山荘 植治と島藤の技	尼崎博正監修	
日本の庭京都	中田昭写真	

大文字山を食べる 山菜・キノコ採集記 小林かいちの世界 まぼろしの京都アール・デコ 伝統工芸再考 京のうちそと 過去発掘・現状分析・将来展望	安田陽介著 小林かいち[画] 山田俊幸・永山多貴子編 稲賀繁美編	購入
京都金地院公文帳 京のキリシタン史跡を巡る 平安時代山岳伽藍の調査研究 如意寺跡を中心として パノラマ地図と鉄道旅行 JR奈良線開通111年記念 「講堂映画会」の子どもたち 加茂町四季の植物 本願寺展 親鸞と仏教伝来の道 重要文化財伊佐家住宅東蔵、乾蔵、二階蔵、木小屋環境保全事業工事報告書 京都の町家と町なみ 何方を見申様に作る事、堅仕間敷事 川島織物創業145年から163年(会社合併)までの歴史 「京都五山禅の文化」展 足利義満六百年御忌記念 京石工芸石大工の手仕事 西村石灯呂店作品集1995-2006	上田純一校訂 杉野榮著 古代学協会・江谷寛・坂詰秀一編 宇治市歴史資料館編 吉田ちづゑ著 西澤公男著 九州国立博物館編 伊佐安弥子編 丸山俊明著 社史編纂プロジェクトチーム編 東京国立博物館ほか編 西村金造・西村大造・西村光弘著	寄贈

(1) 人文資料

区分	書名	著編者名等	備考	
参 考 図 書	デジタル情報資源の検索 増訂版	高嶽裕樹著	購入	
	著作権関係法令集 平成19年版	著作権法令研究会編		
	学会名鑑 2007～9年版	日本学術協力財団編		
宗 教	日本女性史大辞典	金子幸子ほか編	購入	
	図書館に関する基礎資料 平成18年度 稲盛財団 京都賞と助成金 第22回(2006)	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編 稲盛財団[編]		寄贈
	江戸の出版事情	内田啓一著		取得
	中世一宮制の歴史的展開 上・下 日本中世仏教形成史論 浄土三部経の研究 中世貴族社会と仏教	一宮研究会編 上川通夫著 藤田宏達著 小原仁著		購入
生田神社史 金剛寺一切経の総合的研究と金剛寺聖教の基礎的研究 徹通義介禅師研究 大乘寺開山徹通義介禅師七百回遠忌記念 「若杉家文書」中国天文・五行占資料の研究	生田神社編 落合俊典研究代表 東隆眞編著 大東文化大学東洋研究所編	寄贈 取得		
歴 史 地 誌	歴史考古学大辞典 中世宮廷儀式書成立史の研究 ・古代の天文異変と史書 愚管抄の創成と方法 大宰府古代史年表 平城時代史論考	小野正敏ほか編 細谷勘資著 細谷勘資氏遺稿集刊行会編 細井浩志著 尾崎勇著 川添昭二監修 重松敏彦編 角田文衛著	購入	

	<p>平安勅撰史書研究 平将門 調査と研究 撰関時代文化史研究 中世日本の神話と歴史叙述 中世後期社会と公田体制 徳川幕府の昇進制度 寛政十年末旗本昇進表 日本中世内乱史人名事典 上・下・別巻</p>	<p>遠藤慶太著 村上春樹著 関口力著 桜井好朗著 田沼睦著 小川恭一著 佐藤和彦ほか編</p>	購入
	<p>福富家文書 野津本「北条系図・大友系図」ほか 飛鳥藤原京木簡 1(図版)・(解説) 兵範記人名索引 近世日英交流地誌地図年表 1576-1800</p>	<p>皇學館大学史料編纂所編 文化財研究所奈良文化財研究所編 兵範記輪読会編 島田孝右・島田ゆり子著</p>	寄贈
	<p>日本莊園絵図聚影 釈文編1 古代 初期室町幕府訴訟制度の研究 前近代日本史料の構造と情報資源化の研究 日中戦争についての歴史的考察</p>	<p>東京大学史料編纂所編 岩元修一著 石上英一研究代表 明石岩雄著</p>	取得
美術・芸能・写真	<p>新選仏像の至宝 上・下 日本政治史 写真記録 復刻 ・刻(とき) 田淵俊夫画集 九曜文庫蔵奈良絵本・絵巻集成 竹取物語 甦る白瑠璃コラレン 幻のオールド・ノリタケ ・琳派と広重東海道五拾三次の展開 ガラスによる日本美の表現 男子</p>	<p>毎日新聞社編 金森徳治郎・山浦貫一編 田淵俊夫著 中野幸一監修 横溝博編 井谷善恵[編]著 黒木国昭著 梅佳代著</p>	購入
真	<p>慈覚大師円仁とその名宝 神仏習合 かみとほとけが織りなす信仰と美 宇和島伊達家伝来品図録 ヴィクトリアアンドアルバート美術館所蔵初公開浮世絵名品展 岡部嶺男展 青磁を極める * 真宗重宝聚英 第1～10巻 * 国宝六道絵 * 俵藤太物語絵巻 チェスター・ピーティアー・ライブラリィ所蔵 * 大江山絵巻 チェスター・ピーティアー・ライブラリィ所蔵 * 長恨歌画卷 チェスター・ピーティアー・ライブラリィ所蔵 * 義経地獄破り チェスター・ピーティアー・ライブラリィ所蔵 * 大黒舞絵巻 鎌倉英勝寺所蔵 * 塗師祥一郎画集 1947-2006 * 新聞広告美術大系 1～17 * 世界百名瀑 白川義員作品集 1～3 * 近藤潤作品集</p>	<p>NHKプロモーション編 奈良国立博物館編 宇和島市立伊達博物館・宇和島伊達文化保存会編 太田記念美術館編 岡部嶺男[作] 東京国立近代美術館ほか編 信仰の造詣的表現研究委員会編 泉武夫・加須屋誠・山本聡美編著 大島由紀夫・小林祥次郎・真弓常忠解説 石黒吉次郎・志村有弘解説 狩野山雪画 袴田光康解説 小峯和明・宮腰直人解説 木村千鶴子・八木意知男解説 塗師祥一郎著 羽島知之編 白川義員著 近藤潤著</p>	寄贈

* 印の資料11点は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

吉田文庫

この文庫は、京都大学名誉教授・元京都府京都文化博物館長・故吉田光邦博士（大正10年生、平成3年没）が蒐集された総合的なコレクションです。平成3年度に御遺族の吉田茂博氏から寄贈を受けました。その後も、吉田文庫に関係のある個人・団体から引き続き送付いただいています。

(ウ) 官庁資料

区分	書名	著編者等	備考
京都府関係	京都府職員録 [明治8・9年] 橋梁寫真帖 旅館サービス讀本	京都府編 京都府[編] 京都市産業部観光課編	購入
	京都市の人口 平成17年国勢調査結果 京(みやこ)・食育推進プラン 消防概況 くみやま 平成19年版 八幡市国民保護計画 市政のあらまし 平成19年版 あやべ統計書 平成18年版 舞鶴の環境 環境白書 平成19年度版 里地里山保全再生モデル事業調査報告書 京都府北部地域 平成18年度	京都市総合企画局情報化推進室情報統計課編 京都市保健福祉局保健衛生推進室健康増進課編 久御山町消防本部[編] 八幡市総務部市民自治・安全課[編] 亀岡市議会事務局編 綾部市総務部総務課編 舞鶴市市民環境部環境対策室生活環境課[編] 国立公園協会[編]	寄贈
国・他府県等	京都府宗教法人名簿 平成19年9月現在 京都府給与関係例規集 平成19年4月 京都府議會議員一般選挙選挙の記録 平成19年4月8日執行 介護保険制度の実施状況 平成17年度 京都の海岸 丹後織物産地生産基盤実態調査報告書 和装小幅・後染織物業界(親機) 植物防疫事業年報 平成18年度 京都府観光入込客調査報告書 平成17年(2005年)	京都府総務部文教課編 京都府人事委員会事務局編 京都府選挙管理委員会[編] 京都府保健福祉部高齢・保険総括室介護保険推進室[編] 京都府土木建築部治水総括室河川整備管理室編 京都府織物・機械金属振興センター編 京都府病虫害防除所[編] 京都府商工部観光・コンパソロジー室編	取得
	人権教育・啓発白書 平成19年版 犯罪被害者白書 平成19年版 「治安維持法」帝国議会議事録 ハンドブック消費者 2007 国語に関する世論調査 平成18年度	法務省編 内閣府編 高等法院検事局思想部編 内閣府国民生活局編 文化庁文化部国語課[編]	購入
国・他府県等	衆議院速記者養成所の88年 国家公務員給与等実態調査報告書 平成18年 土地問題に関する国民の意識調査 企業における若年者雇用実態調査報告 平成17年 女性のライフプランニング支援に関する調査報告書 がん対策に関する世論調査 平成19年9月調査 地球温暖化対策に関する世論調査 平成19年8月調査 食料品消費モニター定期調査結果 平成18年度第1～4回	衆議院速記者養成所記念事業準備委員会企画・編集 人事院給与局給与第一課編 国土交通省土地・水資源局土地情報課[編] 厚生労働省大臣官房統計情報部編 内閣府男女共同参画局調査課[編] 内閣府大臣官房政府広報室[編] 内閣府大臣官房政府広報室[編] 農林水産省消費・安全局消費・安全政策課[編]	寄贈

農林業センサス 2005年第1巻26、第2～8巻	農林水産省大臣官房統計部編	寄贈
地域保健医療基礎統計 平成18年	厚生労働省大臣官房統計情報部編	取得

イ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	購入	寄贈・取得	計
京 都 関 係	9タイトル	2,621タイトル	2,630 タイトル
一般 (歴史・美術・官庁等)	105	2,566	2,671
京 都 官 庁 関 係	-	688	688
計	114	5,875	5,989

(2) 文書資料

ア 古文書

(ア) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

< 古文書 (原本) 等 >

区分	資料名	形態	綴	地域	時期	資料概要 (内容 / 特記)	備考
近世・近代	船屋太兵衛家文書	古文書	738	京都市	延宝9年 (1681) ~ 明治2年 (1869)	指物師船屋太兵衛家に伝来した資料。御所から発注される箆笥、戸棚などの道具類に関する資料。池に浮かべる御舟 (みふね) の仕様書等。四丁目 (西堀川通出水下ル) の町文書ほか。	寄贈
	杉浦家文書	古文書	7	京都市	寛政5年 (1793) ~ 大正11年 (1922)	呉服商「大黒屋」杉浦家に関する文書。江戸店の火事後の処理・儉約等、商売のための覚2冊。旅日記 (伊勢方面、大坂・兵庫・宮津方面) 2冊ほか。	取得
	古久保家文書・丙	古文書	426	京都市	延宝4年 (1676) ~ 昭和44年 (1969)	貞享5年一乗寺村鉄炮改帳、享保7年年頭御礼江戸下入用覚、文化・文政期の茶会録、教職関係辞令、卒業証書、教科書、和歌・漢詩ほか。	寄贈
	菊岡家文書	古文書	992	京都市	幕末 ~ 大正	京都馬借山城屋清左衛門家の資料。二条蔵米元帳、荷物の受取帳票・人足割表、近代運送業関係資料、家普請一件書類、近代書状類、講関係資料ほか。	寄贈
	京都町奉行東御役所絵図	古文書	1		嘉永5年 (1852) か	京都町奉行東御役所の天明の大火以後の絵図。京都大工頭中井家の作成と推定される。	購入

大恩寺町内会 旧蔵文書	古文書	11	京都市	明治2年 (1869) ~21年 (1888)	大恩寺町は二条室町西入。戸籍・町内絵図・地券写など明治期の記録類。	寄贈
松平家資料	古文書 ・現物 資料	6,497	亀岡市	永禄4年 (1561)~ 昭和29年 (1954)	丹波亀山藩の藩主であった形原松平家に伝来した資料。書画、調度、藩主家・子爵の家政に関連する文書・記録類。	寄託

< 写真帳・マイクロフィルム等複製物 >

区分	資料名	形態	点数	地域	時期	資料概要(内容/特記)
近世・近代	広瀬家文書	マイクロフィルム	1	京都市	享和元年 (1801)~ 昭和9年	地下官人で朝廷の内舎人および一条家の家司を勤めた広瀬家に伝来した資料。江戸下向日記、家伝ほか。
近代	園部領分高付 (松本家文書)	写真帳	1	知野部村 (京丹波 町下山)	近世後期 (天保頃)	園部藩(小出氏)領の村高帳。

(イ) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

< 古文書(原本)等 >

区分	資料名	形態	点数	備考
近世・近代	船屋太兵衛家文書	古文書	738	終了/公開
	杉浦家文書	古文書	7	終了/公開
	古久保家文書・丙	古文書	426	終了/公開
近代	菊岡家文書	古文書	992	終了/公開
	京都町奉行東御役所絵図	古文書	1	終了/公開
	大恩寺町内会旧蔵文書	古文書	1	終了/公開
	広瀬家文書	マイクロフィルム	1(30)	終了/公開
	園部領分高付(松本家文書)	古文書	1(1)	終了/公開
	松平家資料	古文書・現物資料	6,497	終了/公開準備中
	大西家文書・乙	古文書		整理中

b 古文書の修理

本年度は実施していません。

c 古文書の燻蒸

9月18日(火)~10月3日(水)、菊岡家文書ほか搬入後燻蒸していない資料について炭酸ガス燻蒸を行いました。

イ 行政文書

(7) 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度、収集した行政文書は次のとおりです。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	冊数	完 結 年 度	冊数
昭和55年度	1,222	昭和元～平成15年度	2,015
昭和56年度	1,591	合 計	2,015
過年度分(大正5～昭和55年度完結)	1,357		
合 計	4,170		

(1) 整理

a 京都府庁文書の整理

京都府庁文書(永年)については、簿冊目録(事務用、閲覧用)及び件名簿を作成しています。簿冊目録は、明治元年から昭和30年までは冊子目録、昭和31年以降はカード目録、昭和55年度以降は冊子目録を行政組織別に編成しています。

本年度、作成した目録は、次のとおりです。

文書群名	目録の種類	目録の形態	完結年度	冊 数
京都府庁文書(永年)	簿冊目録(閲覧用)	冊子目録	昭和55年度	1,222
	簿冊目録(事務用)	電子目録	昭和55年度	1,222
	件名簿(件名目録)	冊子目録	昭和55年度	1,222
京都府庁文書(有期)	保管目録(事務用)	電子目録	平成19年度収集分	2,015

b 地籍図の整理

用地課より引渡のあった地籍図の一部を整理公開しました。

文書群名	形態	整理概要	点数
上京区地籍図	図面	目録作成 装備	7
下京区地籍図	図面	目録作成 装備	7
官有地籍図	図面	目録作成 装備	213
官有地籍図収集資料	図面	目録作成 装備	34
官有地一筆限調簿	冊子	目録作成 装備	120

c 複製資料の作成

重要文化財に指定された資料のうち、利用の多いもの及び損傷の激しいものを中心に、原本資料の代替物として紙焼き写真による複製資料を作成しました。

資 料 名	複製物の概要	冊数等	備 考
京都市道路改築	A 4 版 紙焼き写真	1 冊	(図面)
	A 3 版 紙焼き写真	140枚	
女学校関係書類	A 4 版 紙焼き写真	1 冊	

ジフテリア注射禍事件公判記録、判決謄本	A 4 版 紙焼き写真	1 冊	
古社寺調査書 社之分	A 3 版 加-紙焼き写真	1 冊	

(ウ) 保存

a 資料の保護

新しく受領した文書の内、いたみの激しい文書や酸性劣化のおそれのある文書を、中性紙の封筒及び専用保存箱に収納するなどの処置を施しました。

b 文書の移動

元周山保健所庁舎の行政文書文書庫に、平成20年1月16日、104箱の行政文書を移動しました。

ウ 文学資料

(ア) 収集

本年度、収集した文学資料は、次のとおりです。

資料名	形態	点数	時期	資料概要(内容/特記)	備考
天眠文庫関係資料	冊子ほか	6	昭和	小林政治(天眠)に関する資料	寄贈

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は10点で、明細は次のとおりです。

部門	資料名	点数	収集区分	寄贈者名
美術工芸資料	日本画 三輪良平「佳日(御披露目)」ほか	3点	寄贈	三輪良平様
	日本画 大角菜華「能楽図屏風」六曲一隻	1点	寄贈	濱本彩様 他2名
	洋画 大門清次「space」	1点	寄贈	大門喜代子様
	洋画 芝田米三「よみがえる新世紀の序曲」ほか	3点	寄贈	芝田藤子様
	彫刻 清水九兵衛「Corresponding Space」	1点	寄贈	清水久仁子様
	人形 古今雛一対、屏風一隻	1点	寄贈	中川志寿子様
合 計		10点		

3 調 査

(1) 古 文 書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区分	調 査 名	調 査 先	期 間	関連地域	概 要
古代 ・ 中世	醍醐寺聖教調 査	醍醐寺	平成19年6月19・20 日，8月28日・29日	京都市	醍醐寺聖教の名称、員数、書写年等 の内容調査。
近 世	近世村文書	個人	平成19年5月9日	丹波	園部領分高付。マイクロ収集。
近 代	京丹後市所蔵 ・ 稲葉家文書共 同調査	京丹後市久美 浜市民局	平成19年6月23～ 25日・8月20～22 日	丹後	近世・近代に久美浜で鞠屋、船問屋 等を営んでいた稲葉家に伝来した文 書の他機関との共同内容調査。
	近世町関係及 び私文書調査	個人	平成19年7月13日	京都市	堺町御池丸木材木町の町文書および 商売関係文書など。マイクロ収集検 討資料。
	近世村文書及 び地下官人・ 私文書調査	個人	平成19年9月6日	京都市	嵯峨大覚寺の侍医（地下官人）の文 書及び上桂村の文書、書画・詩歌な ど。マイクロ収集検討資料
	近世領主関係 文書	個人	平成19年9月13日	京都市	伏見稻荷神社社家の文書。歴史・有 職故実等の木版本・写本および社家 に関する資料など。搬入・受入。
	近世町文書	大恩寺町自治 会	平成19年10月18日	京都市	中京区大恩寺町の近代書類。搬入・ 受入。
	近世私文書	個人	平成19年12月11日	京都市	幕末風説書・書画類など。
	近世地方文書	個人	平成19年12月13日	京都市	下鴨蔦倉郷に関する資料など。マイ クロ収集検討資料。

(2) 行 政 文 書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課（室）から政策法務課に引き継がれた文書の内、保存年数が経過した有期限保存文書（昭和61年度完結20年保存、平成8年度完結10年保存、平成13年度完結5年保存等）4,107冊から240冊を選別しました。また、本庁舎の執務室改善に伴い、各課（室）で保管していた有期限保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった約500箱分の文書を調査選別し、その内約200箱分の文書を選別しました。併せて収集するためのリスト等を作成しました。調査選別の状況は、次表のとおりです。

調査選別先 （主務課名）	調査選別の時期	調査選別の概要
高齢・援護室	平成19年4月17日、7月23日、 9月20日	戦没者調査・遺族援護に係る簿冊を選別収集。 高齢・援護室倉庫から館に搬入後、1月21日か ら3月31日にかけて、高齢・援護室臨時職員2名 と館職員により整理作業を実施。

自然環境保全室	平成19年6月26日	自然環境保全調査に係る簿冊を選別収集。
能力開発室	平成19年8月3日	高齢者事業団に係る簿冊等を中心に選別収集。
青少年課	平成19年8月3日、10月31日	青少年問題協議会などに係る簿冊等を中心に選別収集。
住宅課	平成19年8月3日、9月26日	京都府営住宅に係る図面を選別収集。
総務調整課	平成19年10月12日	戦前の国道整備に係る図面を選別収集。
保健福祉総務課	平成19年9月25日、10月12日	公衆衛生・同和対策などに係る簿冊等を中心に選別収集。
文教課	平成19年10月31日、平成20年3月6日	戦前の招魂社・戦後の寺社図面などに係る簿冊等を中心に選別収集。
生活衛生課	平成19年10月31日	明治8年頃からの墓地台帳を選別収集。
産業支援室	平成19年10月31日	けいはんなベンチャーセンター関連簿冊等を選別収集。
観光・コンベンション室	平成19年10月31日	観光客誘致などに係る簿冊等を中心に選別収集。
環境企画課	平成19年10月31日	公害対策などに係る簿冊等を中心に選別収集。
子ども未来室	平成19年10月31日	児童福祉審議会に係る簿冊等を選別収集。
畜産課	平成19年10月31日	畜産業支援などに係る簿冊等を中心に選別収集。
環境管理課	平成19年11月28日	公害対策などに係る簿冊等を中心に選別収集。
経済交流・貿易室	平成20年1月24日、3月10日	海外事務所に係る簿冊を選別収集。
用地課	平成20年3月6日	国有地編入に係る簿冊を中心に選別収集。
文化芸術室	平成20年3月6日	丹後文化会館の図面等を中心に選別収集。
企業局経営企画課	平成20年3月11日	産業振興などに係る簿冊等を中心に選別収集。
企画室	平成20年3月19日	ダム建設などに係る簿冊等を中心に選別収集。
交通対策室	平成20年3月19日	交通規制などに係る簿冊等を中心に選別収集。
労政課	平成20年3月26日	労働政策などに係る簿冊等を中心に選別収集。
耕地課	平成20年3月26日	耕地整理などに係る簿冊等を中心に選別収集。

4 閱 覧

(1) 図 書 資 料

ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室で290席あります。開架図書約5万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できます。

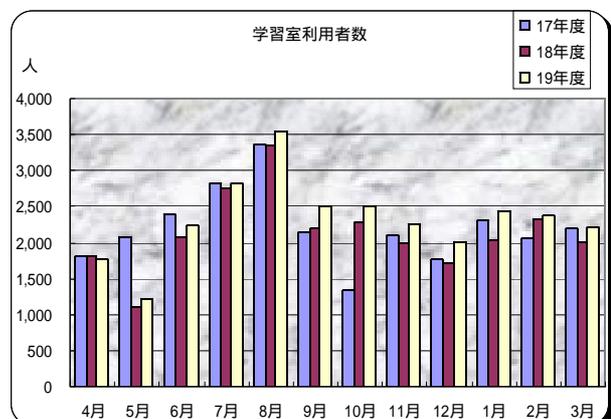
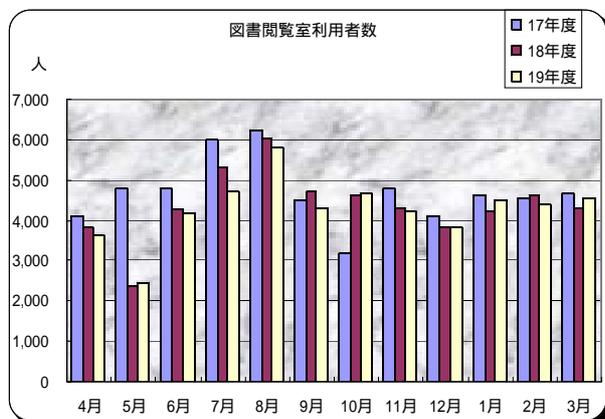
本年度の利用者数は51,267人（1日平均160人）書庫出納冊数は63,688冊でした。

イ 学習室

自習室で140席あります。本年度の利用者数は27,924人（1日平均87人）でした。

閱 覧 室 等 の 利 用 状 況

年 月	開館日数	図書閲覧室 (1日あたり)	学 習 室 (1日あたり)	書 庫 出納冊数	図書資料の相談件数			
					口頭	電話	文書	
19年 4月	28 ^日	3,630 ^人 (130) ^人	1,764 ^人 (63) ^人	3,843 ^冊	993 ^件	857 ^件	120 ^件	16 ^件
5	16	2,456 (154)	1,226 (77)	3,182	723	633	82	8
6	28	4,171 (149)	2,238 (80)	6,501	1,293	1,063	209	21
7	29	4,727 (163)	2,828 (98)	5,142	1,138	909	198	31
8	30	5,778 (193)	3,546 (118)	5,384	1,270	1,033	224	13
9	27	4,324 (160)	2,508 (93)	6,645	1,160	958	188	14
10	29	4,666 (161)	2,510 (87)	6,368	1,205	971	212	22
11	27	4,242 (157)	2,268 (84)	6,297	1,158	952	198	8
12	25	3,826 (153)	2,004 (80)	5,623	891	742	141	8
20年 1月	25	4,499 (180)	2,442 (98)	4,995	988	817	163	8
2	27	4,384 (162)	2,370 (88)	4,400	1,037	812	190	35
3	29	4,564 (157)	2,220 (77)	5,308	1,201	990	186	25
計	320	51,267 (160)	27,924 (87)	63,688	13,057	10,737	2,111	209



注 1 : 平成17年度は9月29日～10月13日の間、18年度は5月15日～26日の間、19年度は5月21日～6月1日の間それぞれ臨時休館

ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を行っています。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。本年度の相談状況は、次のとおりです。

(相談の内容別内訳)

	館利用 案内	複写依頼	特定図書 の 所蔵調査	図書に 関する 書誌 的調査	人名・地 名等の読 み方調査	人 物 ・ 団 体 調 査	内 容 調 査	その他	計
口頭	4,624	3,124	1,268	175	11	110	986	439	10,737
電話	475	211	718	57	16	55	424	155	2,111
文書	18	118	18	4	0	6	28	17	209
計	5,117	3,453	2,004	236	27	171	1,438	611	13,057

〔相談事例〕

『京雀』『京雀跡追』に記載されている「諏訪町」の町名変遷について知りたい。

現在の町名は中京区の御射山町(みさやまちょう)。下記資料によると、寛永14(1637)年の「洛中絵図」から享保8(1723)年の「京都図」までの町名は「すはの丁」「諏訪町」「諏訪之丁」と表示されている。寛保(1741～44)年間の「京大絵図」で「御射山町」となり、『京町鑑』(宝暦12(1762)年刊)にも「御射山町」と記載されている。なお、「諏訪町」の名は当町に「諏訪ノ社」が祀られていたことに由来する(『京雀』(寛文5(1665)年)『京雀跡追』(延宝6(1678)年)『京羽二重』(貞享2(1685)年))。

【参考資料】

- 『京都市町名変遷史 5 鉾町周辺』(K1E-291.62-Ma81-5)
- 『日本歴史地名大系 27 京都市の地名』(K1-291.62-H51)
- 『角川日本地名大辞典 26-1 京都府』(K0-291.62-Ka14-1)
- 『新修京都叢書 第1巻 京雀、京雀跡追ほか』(K0-291.62-Sh62-1)
- 『新修京都叢書 第3巻 京町鑑ほか』(K0-291.62-Sh62-3)

現在の京丹後市にある日本で一番古いたたら製鉄所の遺跡のことを調べたい。

インターネットで「京丹後」「たたら製鉄」で検索すると、旧弥栄町にある遠所遺跡えんじょと判明した。『京都大事典 府域編』には「わが国最大級の古代製鉄遺跡」とある。遠所遺跡については『京都府遺跡調査報告書 第21冊 遠所遺跡』に詳しく紹介されている。

【参考資料】

- 『京都大事典 府域編』(K0-291.62-Ky6)
- 『京都府遺跡調査報告書 第21冊』(K0-210.025-Ky6-21)

織田信長が上杉謙信に「洛中洛外図屏風」を贈った年代、及び、当屏風は狩野永徳作といわれているが、永徳が何歳の時の作品かについて知りたい。

『謎解き洛中洛外図』の「(謙信公)御書集」によれば、天正2(1574)年3月の条に「同年三月、尾州織田信長、為使介佐々市兵衛遣于越府、被贈屏風一双、画(畫)狩野源二郎貞信、入道永徳斎、永

禄八年九月三日画(畫)之、花洛尽(盡)、被及書札」とある。ここから信長が天正2年3月に「洛中洛外図屏風」を謙信に贈ったこと、狩野永徳(1543-1590)が永禄8(1565)年9月3日にこの屏風を描いたことがわかり、永徳23才の作となる。但し、作期・注文主等については諸説ある。

【参考資料】

- 『謎解き洛中洛外図』(K1S-721.4-Ku72)
- 『新発見・洛中洛外図屏風』(K1-721.4-Ka58)
- 『京都・一五四七年 描かれた中世都市』(K1-721.4-I46)
- 『狩野永徳』(721.4-Ka58)
- 『芸術新潮』2007年11月号「特集・天下の狩野永徳」

鴨川納涼床の下を流れる「みそぎ川」は、いつ頃からあるのか。

『わたしたちの鴨川』の中に「大正時代に行った工事で、人工水路の「みそそぎ川」が整備された。...みそそぎ川の由来は、鴨川が「みそぎ」をする川であり...」との記述がある。この川の呼び名は資料によって「みそそぎ川」「みそぎ川」「みささぎ川」等とある。

【参考資料】

- 『わたしたちの鴨川』(MK1.7-517.21-Ky6)

室町時代に公家が町風呂を借切って宴会をしていたらしいが、それに関する絵が載った資料がないか。

『芸能史研究』84号所収の論文「風呂と寄合いの文化 - 公家日記を中心として」に、町風呂を借切る時に人を招いて芸能の寄合いを行っていたとの記述がある。論文によると「『洛中洛外図屏風』に町風呂の絵があり、『言継卿記』にある一条風呂と思われる」とある。『言継卿記』(天文15(1546)年2月11日条)には、一条風呂を借切って興行したという記述があるが絵はない。当館の各種「洛中洛外図屏風」を見ると町風呂の絵はあるが、酒宴の様子を描いた絵は見つからなかった。

【参考資料】

- 『芸能史研究』84号
- 『近世風俗図譜 3 洛中洛外 1』(E-721.8-Ki46-3)
- 『言継卿記 第二』(210.46-Y44-2)

明治20年に渋沢栄一・田中源太郎等が設立したといわれる京都陶磁器会社について何か資料がないか。

「京都陶磁器会社」では資料は見つからず、「田中源太郎」で検索した結果『田中源太郎翁伝』があり、その本から会社名が「京都陶器株式会社」とわかった。『京都府百年の年表』にも明治20年5月に「京都陶器会社」の名前があるので「京都陶器会社」で検索し、『京都陶器会社一件』を紹介した。

【参考資料】

- 『京都陶器会社一件』(K1-751.3-Ky6)
- 『田中源太郎翁伝』(K1-289.1-Ta84)
- 『京都府百年の年表 2 商工編』『同 8 美術工芸編』(MK0-216.2-Ky6-2,8)

京都市歌の昔の歌(大正4年頃)の歌詞が知りたい。

『京都大事典』に現在(昭和26年7月制定)の「京都市歌」の歌詞と楽譜は記載されているが、大正の頃の歌詞はない。『京都府百年の年表 9』には明治31年1月に制定されたものと現在の「京都市歌」の歌詞は記載されているが、大正の頃の歌詞はない。『京都音楽史』の「京都市歌の制定」中「京都市歌 - 大正3年作曲」の項目に成立経過についての記載があり、大正天皇の即位大典の時に作られたことが判明したが、歌詞は載っていない。そこで『御大典記念事業史(大正編)』(市政史料 No.36)を調べると、「京都市歌」の大正4年10月19日制定までの経過と作詞・作曲者、1番から3番までの歌詞が掲載されている。

【参考資料】

『京都大事典』(K0-291.62-Ky6)

『京都府百年の年表 9』(MK0-216.2-Ky6-9)

『京都音楽史』(K1-762.16-N33)

『御大典記念事業史(大正編)』(市政史料 No.36)(MK1-318.26-Ky6)

N電と呼ばれた北野線の京都市電の形式図(図面)が見たい。

N電とは、狭軌(ナローゲージ)車の意で、1067mm軌間で敷設していた京都電気鉄道(京電)を京都市が大正7(1918)年に買収したとき、市電の標準軌1435mm軌間に対して「N」の字を番号の前につけ「N 番」としたことによる。N1～N133の客車133輛とN134～N136の撒水車3輛が存在していたが、京電の車輛は昭和2(1927)年には北野線を除いて路線の改軌により廃車が進み、昭和36(1961)年には完全に廃止となった。当館の資料には以下の型式の図面がある。

「狭軌 型 N22 8コ窓」(『京都の市電 古都に刻んだ80年の軌跡』)

「狭軌 型 9コ窓」(『さよなら京都市電 83年の歩み』)

「昭和12年製狭軌線 9コ窓・狭軌撒水車」(『N電 京都市電北野線』)

【参考資料】

『京都の市電 古都に刻んだ80年の軌跡』(K1-681.8-Y97)

『さよなら京都市電83年の歩み』(K1E-681.8-Ky6)

『N電 京都市北野線』(K1-686.91-Y89)

吉田了以とはどんな人物で、どこの水運をひらいたか。()また、京都の川船はなんと呼ばれたかについて知りたい。()

吉田了以とは『日本人名大事典』『国史大事典』によると角倉了以のことであり、本姓が吉田である。角倉了以(天文23(1554)年～慶長19(1614)年)は朱印船貿易で活躍した豪商で、京都の大堰川(保津川)や高瀬川の水運を開き、京都以外では富士川、天竜川の開削を行っている。

『京都高瀬川』『川船』によると、京都では高瀬川、大堰川に就航した川船を「高瀬船」と呼んでいた。高瀬とは川の浅瀬のことをいい、高瀬船とは、浅瀬を運航するため船底を平たく浅くした小型船で、船首が高く船体の幅が広い船のことで、高瀬川の名称は了以が開いた川に高瀬船が航行したことに由来している。

* 資料により「船」「舟」の記述があるが、固有名詞を除き「船」に統一した。

【参考資料】

- 『京都高瀬川 - 角倉了以・素庵の遺産』(K1-517.6-172)
- 『川船 - 大堰川の舟運と船大工』(K1.8-684.02-Ka35)
- 『角倉了以とその子』(K1-289.1-Su63)

『中昔京師地図』の成立年代と、いつの時代を描いた地図なのかを知りたい。

『京都・激動の中世』によると、「江戸時代の国学者であった森幸安は古代・中世の京都の様相を復元した二枚の歴史地図を作成した。『中古京師内外地図』と『中昔京師地図』がそれであり、前者は平安時代から室町時代の京都を、後者は戦国時代の京都をそれぞれ描いている」とある。また、『森幸安の描いた地図』には、成立年代は宝暦3(1753)年、内容年代は応仁～天正期(1467～1591)とある。

【参考資料】

- 『京都・激動の中世』(K1-210.4-Ky6)
- 『森幸安の描いた地図』(291.038-Mo45)

明治36年に浅井忠が「遊陶園」を組織したらしいが、そのメンバーについて知りたい。

『水仙の影 浅井忠と京都洋画壇』によると、「京都市在住の本協会員と図案家の有志者により成立し遊陶園と称する団体は園友僅十七八名なるも、美術工芸品の図案を實際器物にする目的を以って集合し、一年五、六回園友輪番に会主となりて夕食後より開催して十二時頃までに散席するを礼とす。・・・」「図案家の提出した図案をもとに陶芸家たちが作品を制作し、佳品には一同評決の上で価格を決める」とある。メンバーについては「園長に中沢岩太が就任し、図案家には浅井をはじめ藤江永孝・鶴巻鶴一・神坂雪佳・菊池素空・牧野克次・萩原清彦・武田五一などが、陶芸家としては錦光山宗兵衛・清水六兵衛・宮永東山・伊東陶山・沢田宗山などが参加した」とある。

【参考資料】

- 『水仙の影 浅井忠と京都洋画壇』(K1-723.1-Ma27)
- 『京都近代美術の継承 浅井忠からいざよいの人々へ』(K1-723.1-Ma27)

雲の名前で丹波太郎、山城次郎という雲について知りたい。

『京都暮らしの大百科』によると、「真夏に京都の西北・丹波地方に出る雷雲、入道雲を京都や大阪で丹波太郎という。丹波山地で発生し京都市内にくるが、いったん衰えて京都市内に近づくと再び発達しアツという間に大雷雨。予測が難しいという。一方奈良から北上してくる雷雲を山城次郎と呼び、琵琶湖周辺から西進してくる雷雲を比叡三郎と呼ぶ。」とある。また、『京都お天気歳時記』『京都大事典』にも詳しい記述があり、『京のことは』には丹波太郎の写真が掲載されている。

【参考資料】

- 『京都大事典』(K0-291.62-Ky6)
- 『京都お天気歳時記』(K0-451.91-Ky6)
- 『京都暮らしの大百科』(K0-386.16-Ky6)
- 『京のことは』(K1-291.62-Y92)
- 『京ことば辞典』(K1-818.62-Ky4)

エ 資料紹介コーナー

特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、総合資料館が所蔵する図書資料を広く紹介しています。

テーマ	期間
嵐電と京都の路面電車 - 京都の電車 1 -	平成19年 4月18日 ~ 5月17日
国勢調査の歴史 - 国を挙げての大事業 -	平成19年 6月14日 ~ 7月10日
戦争体験記	平成19年 8月 3日 ~ 31日
旧植民地を走る - 台湾・樺太・朝鮮・満州の鉄道 -	平成19年10年11日 ~ 31日
総合資料館所蔵明治期の美術雑誌	平成19年11月 9日 ~ 30日
源氏物語の世界 - 美術資料を中心に -	平成20年 1月10日 ~ 31日

(2) 文書資料

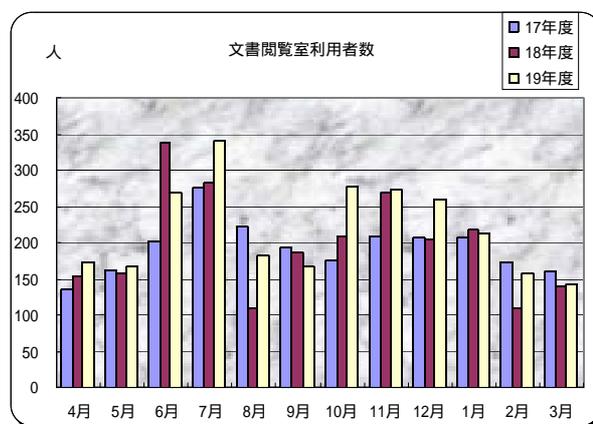
文書閲覧室は、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧室で、35席あります。閲覧室に配架してある東寺百合文書写真帳、京都府布令書や写真資料コピーを自由に利用できるほか、デジタル画像の閲覧（一部は閲覧申請が必要）ができます。また、書庫内の文書資料は閲覧申請のうえ利用できます。

本年度の利用者数は2,623人（1日平均8.2人）、書庫資料閲覧点数は9,139点（1日平均28.6点）でした。

ア 古文書の閲覧

(ア) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書（原本）が53人、306点、その他の原本閲覧は北野神社文書が1人、2点でした。文書複製資料は天竜寺文書等、110人、780点で、その他、閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用が63人あり、合計227人、1,088点の利用がありました。



注：平成17年度は9月29日～10月13日の間、18年度は5月15日～26日の間、19年度は5月21日～6月1日の間それぞれ臨時休館

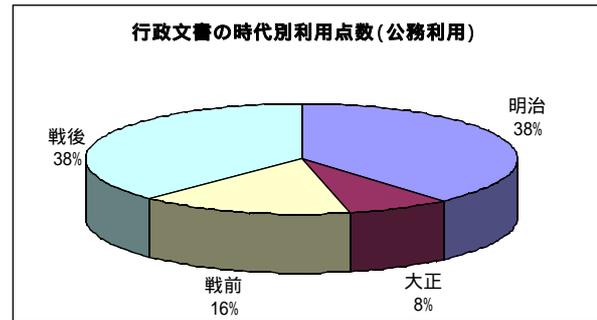
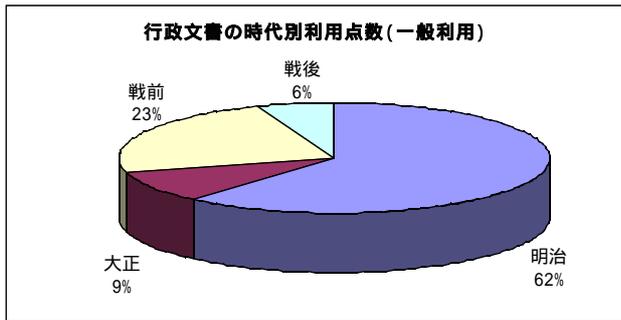
(イ) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書、三条衣棚町文書等、691人、2,651点、寄託文書は谷口家資料、本郷家文書等、36人、229点、文書複製資料は森島国男家文書等、10人、34点で、合計737人、2,914点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は643人で、明治期の文書を中心に昭和20年前後の文書等3,066冊の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は376人で、1,974冊の利用があり、閲覧者の合計は1,019人、利用冊数の合計は5,040冊でした。



19年度に公開した地籍図の利用が多かったため、明治期の利用実数が昨年比べて大幅に増加しました。

ウ 写真資料の閲覧

写真資料は閲覧室に配架している写真資料コピーとデジタル画像の利用が併せて36人ありました。

エ 近代文学資料の閲覧

近代文学資料は9人、71点の利用がありました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計12件、169点の特別観覧がありました。主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部門	資料名	点数
個人	日本画	横井金谷「鍾馗大臣図」	30点
個人	染織	河鍋暁斎「処刑場跡描絵羽織」	1点
個人	陶芸	清水六兵衛「牛」(臚コレクション)ほか	36点
個人	人形	有職雛、五人囃子ほか	6点
個人	歴史	寺田伊助旧蔵品	1点
個人	郷土玩具	絵双六	75点

5 東寺百合文書の翻刻

東寺百合文書をより広く利用してもらうため、翻刻して活字化する史料集の刊行を平成15年度に開始しました。本年度その第5巻が刊行されましたが、概要は次のとおりです。

書名 「東寺百合文書 五」
 内容 八函の一部151点。巻末に花押一覧を収録
 体裁 A5判 452頁
 定価 9,975円(本体価格 9,500円)
 編集 京都府立総合資料館
 発行 (株)思文閣出版
 発行日 平成19年10月10日

文書閲覧室の利用状況

年月	開館 日数 (日)	利用者数														合計 (人)
		古文書					行政文書			写真資料				近代 文学 資料	その他 (人)	
		古代・中世			近世 ・ 近代	計	一般 閲覧	公務	計	閲覧	コピー	デジ タル 画像	計	閲覧		
		閲覧 (人)	東寺百 合文書 写真帳 (人)	小計 (人)												
19年4月	28	6	5	11	46	57	36	25	61	0	0	0	0	0	56	174
5月	16	7	1	8	57	65	33	12	45	5	1	5	11	2	43	166
6月	28	9	6	15	60	75	107	36	143	0	1	1	2	0	49	269
7月	29	12	9	21	99	120	43	27	70	0	1	3	4	0	147	341
8月	30	7	8	15	25	40	100	30	130	0	0	1	1	1	10	182
9月	27	14	10	24	31	55	43	28	71	0	2	0	2	1	37	166
10月	29	18	4	22	102	124	69	46	115	0	0	3	3	0	36	278
11月	27	9	3	12	77	89	60	37	97	0	1	1	2	5	81	274
12月	25	42	5	47	72	119	48	33	81	0	0	0	0	0	60	260
20年1月	25	14	3	17	94	111	33	22	55	0	0	0	0	0	47	213
2月	27	10	2	12	51	63	26	51	77	0	2	0	2	0	16	158
3月	29	16	7	23	23	46	45	29	74	2	2	5	9	0	13	142
合計	320	164	63	227	737	964	643	376	1,019	7	10	19	36	9	595	2,623

年月	開館 日数 (日)	書庫資料閲覧利用数								合計 (点)
		古文書			行政文書			写真 資料	近代 文学 資料	
		古代 ・ 中世	近世 ・ 近代	計	一般 閲覧	公務	計			
		(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)			
19年4月	28	50	72	122	149	141	290	0	0	412
5月	16	85	657	742	216	90	306	12	31	1,091
6月	28	55	102	157	360	178	538	0	0	695
7月	29	72	109	181	197	126	323	0	0	504
8月	30	90	222	312	259	124	383	8	1	704
9月	27	73	211	284	233	133	366	0	11	661
10月	29	87	205	292	380	308	688	0	0	980
11月	27	29	121	150	366	192	558	0	28	736
12月	25	189	475	664	278	214	492	0	0	1,156
20年1月	25	153	142	295	219	159	378	0	0	673
2月	27	69	436	505	167	175	342	0	0	847
3月	29	136	162	298	242	134	376	6	0	680
合計	320	1,088	2,914	4,002	3,066	1,974	5,040	26	71	9,139

6 共同研究

(1) 府立大学との共同研究

当館所蔵資料等について、平成13年度から府立大学文学部史学科との間で共同研究を行っていますが、本年度は、次のとおり時代別研究を行いました。

時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備考
近世	近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究	町代日記（古久保家文書）	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料の解読文を作成

(2) 科研費研究

資料館所蔵の「京都府行政文書」の一部が、平成14年度に重要文化財に指定されたことに伴い、平成17年度から平成19年度までの3ヶ年、文部科学省科学研究費補助金の交付を受け、「京都府行政文書を中心とした近代行政文書についての史料学的研究」が実施されました。

この研究は、重要文化財に指定された「京都府行政文書」の保存と活用を図ることを目的とするもので、京都府立大学准教授小林啓治氏を研究代表者とし、各大学等の日本近代史や文化財保存の研究者により構成されました。また、当館所蔵資料であることから、当館職員も研究協力者として参加しました。

最終年度である平成19年度は、8月26日(日)に京都市下京区のキャンパスプラザ京都において、公開シンポジウム「未来への遺産 - 重要文化財「京都府行政文書」の保存と活用 - 」を開催しました。このシンポジウムは、京都府と科研グループが主催し、国立公文書館ほか関係機関・報道機関等の後援を得たもので、当日は府民や全国の研究者・関係機関職員など約150名が参加しました。

また、研究報告書を作成し、全国の関係機関などに配付する予定です。

7 地域資料保存・活用担当者会議

平成12年度から平成17年度にかけて「京都府20世紀資料整理事業」を実施し、京都府内の歴史資料の所在を把握するとともに、これら資料を保存するための方策を講じてきました。平成18年度には、引き続き府内各地域の行政文書、古文書等をはじめとする地域資料の保存と活用を深めるために、府内市町村の職員を対象とした「地域資料保存・活用担当者会議」を開催しました。平成19年度も同会議を、平成20年1月23日に当館会議室で開催しました。当館特別参与井口和起氏の講演、また府立山城郷土資料館伊藤太氏、向日市文化資料館玉城玲子氏、当館職員の事例報告が行われ、府内市町村の職員29名の参加がありました。

8 館蔵資料の撮影と複写

(1) 撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は217件、388点でした。

また、館蔵資料の複写利用は13,626件、345,457枚でした。なお、このほか府職員の公務上の複写利用が148件、2,861枚ありました。それぞれの内訳は、次のとおりです。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	64件	82点
文書資料	116	245
古文書	66	125
行政文書	14	37
写真資料	34	78
近代文学資料	2	5
管理委託現物資料	37	61
合計	217	388

複写利用状況

資料種別	複写種別	件数	枚数	
図書資料	電子式複写	13,076件	白黒	274,320枚
			カラー	6,004
	マイクロ複写		21,852	
	マイクロリーター・プリンター		3,944	
	デジタル画像プリント		72	
	小計		13,076	306,192
文書資料	電子式複写	550	白黒	12,947
			カラー	191
	マイクロ複写		25,707	
	マイクロリーター・プリンター		321	
	デジタル画像プリント		99	
	小計		550	39,265
合計		13,626	345,457	

(2) 報道機関による情報発信

ア 「古典籍をあじわう 総合資料館の書庫から」

総合資料館が所蔵する古典籍について、府立大学文学部教員及び資料館職員がわかりやすく解説する「古典籍をあじわう 総合資料館の書庫から」を京都新聞に連載しました。高校生をはじめ広く府民に古典籍の面白さを伝え、生涯学習に生かしてもらおうと同時に、京都の文化の奥深さと歴史の蓄積を紹介することを目的に、総合資料館と府立大学の共同の取り組みとして始めました。毎月第1・第4木曜日の朝刊教育面に、1年間掲載しました。

本年度掲載分は下記のとおりです。

掲載日	古典籍	執筆者
4月5日(木)	嵯峨本「楊貴妃」	山崎福之氏(京都府立大学文学部教授)
4月26日(木)	「金瓶梅」張竹城坡本	小松謙氏(京都府立大学文学部教授)
5月3日(木)	「平家物語」屋代本	池田敬子氏(京都府立大学文学部教授)
5月24日(木)	全韻玉篇	井野口孝氏(京都府立大学文学部教授)
6月7日(木)	奈良絵本	安達敬子氏(京都府立大学文学部教授)
6月28日(木)	中興禅林風月集抄	青木博史氏(京都府立大学文学部准教授)
7月5日(木)	三人法師 - 室町物語	池田敬子氏(京都府立大学文学部教授)
7月26日(木)	直江版「文選」	林香奈氏(京都府立大学文学部准教授)
8月2日(木)	古今大事	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)
8月23日(木)	人車記	西村隆(京都府立総合資料館資料主任)
9月6日(木)	薬師霊場記	松田万智子(京都府立総合資料館資料主任)
9月27日(木)	薄雪物語	母利司朗氏(京都府立大学文学部教授)
10月4日(木)	明月記	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)
10月25日(木)	万葉集略解	山崎福之氏(京都府立大学文学部教授)
11月1日(木)	京童	母利司朗氏(京都府立大学文学部教授)
11月22日(木)	吾妻鏡	西村隆(京都府立総合資料館資料主任)
12月6日(木)	人鏡陽秋	小松謙氏(京都府立大学文学部教授)
12月27日(木)	塵劫記	藤原直幸(京都府立総合資料館主事)
1月24日(木)	和蘭字彙	青木博史氏(京都府立大学文学部准教授)
2月7日(木)	源氏物語全部引歌並詩古語	安達敬子氏(京都府立大学文学部教授)
2月28日(木)	伊勢物語闕疑抄	松田万智子(京都府立総合資料館資料主任)
3月6日(木)	人倫糸屑	藤原英城氏(京都府立大学文学部准教授)
3月27日(木)	新宮撰歌合	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)

イ 「雑学京都史」

これまで知られているようで、意外に知られていない京都を舞台とした歴史の話を総合資料館が所蔵する資料を使って、職員が紹介する「雑学京都史」を次のとおり京都新聞に連載しました。

本年度掲載分は下記のとおりです。

掲載日	テーマ(資料)	執筆者
3月28日(水)	喫茶店のルーツ(東寺百合文書)	池田好信
4月25日(水)	江戸時代の市民運動(福長町文書)	辻真澄
5月23日(水)	京の「町並絵巻」の謎(近江屋吉左衛門家文書)	山田洋一
6月27日(水)	天空の恐怖 - 彗星(東寺百合文書)	武田修
7月25日(水)	御所の御船と指物師(船屋太兵衛家文書)	山田洋一
8月29日(水)	京ブランドの仕掛け人(九重扇十二種)	松田万智子
9月26日(水)	将軍の愛した少年(東寺百合文書)	武田修
10月24日(水)	高島屋の賢母(旧一号書庫写真資料)	福島幸宏
11月28日(水)	幕末の情報収集家(人のうわさ)	辻真澄

12月25日(水)	道路が耕地に(東寺百合文書)	池田好信
1月30日(水)	旗本の正月(仮御役中日記)	山田洋一
2月27日(水)	大正の広重(京都名所大鳥瞰図)	松田万智子
3月26日(水)	寺内落書(東寺百合文書)	武田修

9 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

(1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計3件、23冊の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
亀岡市文化資料館 第43回企画展「戦争平和展 - 戦争遺跡と亀岡 - 」	「集団疎開日誌」	1
京都市学校歴史博物館 『『京都盲啞院』発！障害のある子どもたちの教育の源流』	「明治京都指掌之図」 「京都絵図」	2
京都府立図書館 「源氏物語の世界 - 江戸時代版本と与謝野晶子訳 - 」	「絵入源氏物語」	20

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計1件、2点の貸与を行いました。

区分	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
近世・ 近代	堺市立みはら歴史博物館 秋季特別展「鬼のカタチ」	若杉家文書	2

イ 行政文書

本年度は、次のとおり、合計1件、2点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
大山崎歴史資料館 企画展「鉄道は夢をむすぶ」	京都府庁文書 / 社寺境内外区別取調	14

ウ 写真資料

本年度の貸与はありませんでした。

エ 近代文学資料

本年度の貸与はありませんでした。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計34件111点の貸与を行いました。

主な貸与先等は次のとおりです。

貸与先及び展覧会等の名称	部 門	資 料 名	点数
宮城県美術館、広島県立美術館、富山県立近代美術館 「日展100年」展	日本画 ・染織	金島桂華「大威徳明王」ほか	3
奈良県立美術館 「江戸時代 上方絵画の底ぢから」展	日本画	狩野永俊「楼閣山水図」ほか	18
滋賀県立近代美術館 「～松園・遊瓶・不矩～松園賞・文化勲章受章 の女流日本画家たち」展	日本画	秋野不矩「初冬」ほか	2
迎賓館京都事務所 迎賓館京都しつらいのため	金工・ 陶芸	加藤宗巖「純銀白孔雀香炉」ほ か	2
兵庫県立美術館、松本市美術館、富山県水墨美術館 「見果てぬ夢 - 日本近代画家の絶筆」展	日本画	三橋節子「余呉の天女」	1
高知県立歴史民俗資料館 「坂本龍馬・中岡慎太郎」展	歴 史	坂本龍馬書簡集	1
サントリー美術館、大阪市立美術館、日本経済新聞社 「B I O M B O / 屏風 日本の美」展	日本画	伝・原在中「白絵屏風」	1
福島県立美術館 「上村松園 近代と伝統」展	日本画	三島上龍「灯笼美人図」	1
愛知県陶磁資料館 「煎茶陶芸の美と伝統 - 人間国宝三代山田常山 への道 - 」展	陶 芸	青木木米「白磁木瓜形水注」ほ か	3
株式会社NHKプロモーション 「乾山の芸術と光琳」展	日本画	狩野永敬「十二ヶ月歌意図屏風」	1
京都国立博物館 「憧れのヨーロッパ陶磁 - マイセン・セーブル ・ミントンとの出会い - 」	陶 芸	七代錦光山宗兵衛「色絵婦子図 三足香炉」	1
大津市歴史博物館 「椋亭・金谷 近江蕪村と呼ばれた画家」	日本画	紀椋亭「秋声図」ほか	7
島根県立古代出雲歴史博物館 「よみがえる幻の染色 - 出雲藍板締めの世界と その系譜 - 」展	染 織	「紅板締」(締粹・押さえ板)	1
奈良県立万葉文化館 「三輪晁勢・晁久 日本画二人画」展	日本画	三輪晁勢「木屋町」ほか	6
京都国立博物館 「没後百二十年 河鍋暁斎」展	染 織	河鍋暁斎「処刑場跡描画羽織」	1
大丸ミュージアムK O B E、茨城県天心記念五浦 美術館 「近代日本画にみる麗しき女性たち」展	日本画	広田多津「おしろい」	1

10 図書館間相互貸借

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、本年度、29館、87冊の貸出し、3館、29冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

相互貸借利用状況

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	-	25冊	京丹波町和知ふれあいセンター図書室	1冊	-
長岡京市立図書館	4冊	-	福知山市立図書館中央館	2	3冊
宇治市中央図書館	1	-	福知山市立図書館夜久野分館	1	-
宇治市東宇治図書館	1	-	舞鶴市立東図書館	4	-
城陽市立図書館	7	-	舞鶴市立西図書館	3	-
京田辺市立中央図書館	2	-	与謝野町立図書館加悦分室	1	-
木津川市立中央図書館	6	-	京丹後市立峰山図書館	3	-
木津川市立加茂図書館	1	-	京丹後市立図書館大宮図書室	2	-
和束町体験交流センター図書室	1	-	京丹後市立あみの図書館	8	-
亀岡市立図書館中央館	5	1	京都市中央図書館	11	-
京都学園大学図書館	2	-	京都市北図書館	2	-
南丹市立中央図書館	3	-	京都市左京図書館	1	-
南丹市八木図書室	4	-	京都市岩倉図書館	2	-
南丹市美山図書室	3	-	京都市吉祥院図書館	1	-
京丹波町中央公民館図書室	2	-	京都市右京図書館	3	-
			計	87冊	29冊

(2) 国立国会図書館

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、本年度の借受利用は、1件、1冊でした。

11 展 示

(1) 展覧会の開催

本年度、当館展示室において、次の3つの展覧会を開催し、入場者数は延べ4,870人でした。

展覧会名	総合資料館 収蔵品展
会 期	平成19年7月14日(土)～8月26日(日)
展示の内容	津田道子氏旧蔵「地歌・箏曲」資料(図書資料) 奥田輝一郎氏旧蔵「創作版画」資料(図書資料) 蚕業と京都府(行政文書) 子ども(写真資料) 児童文学・児童図書(近代文学資料) 新収蔵古文書(古文書)の展示を行いました。
出品点数	97点
入場者数	1,915人(開催日数42日間、1日平均46人)

展覧会名	国宝指定10周年記念「第22回東寺百合文書展 - 日本史のなかの百合文書 - 」
会 期	平成19年9月29日(土)～10月28日(日)
展示の内容	国宝指定10周年記念として、特定のテーマは設けず、有名な文書・代表的な文書を紹介する展示を行いました。
出品点数	54点
関連行事	記念講演(府民講座) 平成19年10月11日(木) 平成19年10月18日(木) 「桂川の流路と東寺百合文書の絵図」 「東寺百合文書の歴史」 講師：金田 章裕 氏 講師：池田 好信 (京都大学大学院教授) (当館職員) 列品解説 平成19年10月6日(土)、20日(土) 午後2時～ その他、総合資料館友の会に対して実施
入場者数	1,535人(開催日数28日間、1日平均55人)

展覧会名	企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」
会 期	平成20年3月15日(土)～4月13日(日)
展示の内容	近世の陸運、水運、そして近代からの鉄道、車道、戦後の自動車道など、京都府のさまざまな「道」の歴史を所蔵資料でたどる展示を行いました。
出品点数	101点
関連行事	記念講演(府民講座) 平成20年3月18日(火) 平成20年3月25日(火) 「古代の都と交通」 「明治の京都縦貫道 - 京都宮津間車道の開さく - 」 講師：榎木 謙周 氏 講師：高久 嶺之介 氏 (京都府立大学教授) (京都橘大学教授) 平成20年4月3日(木) 「京都の鉄道文化史」 講師：大塚 活美 (当館職員) 列品解説 平成20年3月22日(土) 4月5日(土) 午後2時～ その他、総合資料館友の会に対して実施
入場者数	1,420人(開催日数28日間、1日平均51人)

12 講座等

(1) 総合資料館府民講座

当館では、平成14年度から総合資料館友の会との共催で、外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催しています。本年度は第43回から第49回まで7回開催し、受講者数は延べ761人でした。

「総合資料館府民講座」の開催状況

回数	日程	講師	演題	受講者数
43	6月26日 (火)	大場 修 氏 (京都府立大学教授)	京都の町並みと集落 集落形成とその特徴 - 丹後・丹波地域を中心に -	103人
44	9月11日 (火)	永田 信一 氏 (京都市考古資料館)	京都市内の遺跡発掘30年 - 平安京跡を中心に -	83
45	10月11日 (木)	金田 章裕 氏 (京都大学大学院教授)	第22回東寺百合文書展記念講座1 桂川の流路と東寺百合文書の絵図	127
46	10月18日 (木)	池田 好信 (当館職員)	第22回東寺百合文書展記念講座2 東寺百合文書の歴史	88
47	11月11日 (日)	田島 達也 氏 (京都市立芸術大学講師)	近世絵画の華 - 18世紀の京都画壇 -	89
48	3月18日 (火)	櫛木 謙周 氏 (京都府立大学教授)	企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」記念講座1 古代の都と交通	151
49	3月25日 (火)	高久 嶺之介 氏 (京都橘大学教授)	企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」記念講座2 明治の京都縦貫道 - 京都宮津間車道の開さく -	120
合 計				761人

(2) インターネット配信

平成19年度に開催した「総合資料館府民講座」のうち3講座を京都府ホームページのインターネット放送局「生涯学習講座」で配信しました。

対象講座	配信開始日
「京都市内の遺跡発掘30年 - 平安京跡を中心に - 」 講師 永田 信一 氏 (京都市考古資料館)	平成19年 12月4日(火)
「桂川の流路と東寺百合文書の絵図」 講師 金田 章裕 氏 (京都大学大学院教授)	平成20年 4月18日(金)
「近世絵画の華 - 18世紀の京都画壇 - 」 講師 田島 達也 氏 (京都市立芸術大学講師)	平成20年 5月7日(水)

(3) 古文書解読講座

平成14年度から開始した「古文書解読講座」は、本年度も当館を会場に、初心者コースと一般コースをそれぞれ2回開催しました。受講者は246人、15日間の延べ人数は830人でした。

「第6回古文書解読講座」の開催状況

講座名	初心者Aコース	初心者Bコース	一般Aコース	一般Bコース
対象者	初心者		ある程度古文書が読める方	
年月日	11月6日～9日	11月6日、13日、15日、16日	11月27日～30日	12月4日～7日
1日目	講演 「古文書から広がる世界 - 江戸時代の京都を中心に -」 京都産業大学文化学部教授 若松 正志 氏 (A・Bコース合同)		近世文書解読 「安政の江戸大地震と旗本 - 天野氏上方代官森島清右衛門の手紙より -」 奈良女子大学講師 島津 良子 氏	
2日目	古文書の初歩的解読	講義 辻 真澄 (当館職員)	中世文書解読 「人と物と銭 - 年貢運上 -」 池田 好信 (当館職員)	
3日目			近世文書解読 「近世山城の触」 山田 洋一 (当館職員)	
4日目			近代文書解読 「陵墓と京都府」 福島 幸宏 (当館職員)	
	実習	武田 修 (当館職員) 山田 洋一 (当館職員)		

(4) 古文書相談

古文書相談は、第187回から第188回まで2回開催しました。その他、比較的軽易なものや相談者の意向により随時郵送により回答したもの等、相談件数の合計は13件でした。

13 編集・刊行

本年度に編集・刊行した刊行物は、次のとおりです。

「資料館紀要」第35号 A5判 272頁

- ・文献課 藤原直幸 <資料紹介> 「資料館蔵和算書について」
- ・歴史資料課 「東寺百合文書関係論文目録(追加と補遺)」
- ・歴史資料課 山田洋一 「近世『徳川領国』における山城国の構造
- 京都府域関係古文書のアレンジメントの前提として -」
- ・八幡市立ふるさと学習館 竹中友里代 「近世石清水八幡宮の石高
- 新史料『八幡宮筆記』を中心に -」

展覧会図録「第22回東寺百合文書展 日本史のなかの百合文書」 B5判 75頁

「東寺百合文書 5(八函151点)」(総合資料館編) A5判 452頁

「総合資料館だより」No.151～No.154

No.151(平19.4.1) 8頁

- ・祇園林夜櫻
- ・文献課の窓から「奥田輝一郎氏旧蔵 版画関係資料」
- ・歴史資料課の窓から「記録の中の“新撰組”その2」
- ・最近の収集資料から
- ・平成19年度事業予定
- ・「京都府庁旧館等記録写真資料」公開、友の会事務局から 他

No.152 (平19.7.1) 8頁

- ・経ヶ岬灯台 ・文献課の窓から「条例の探し方《京都の場合》」
- ・寄贈資料紹介「船屋太兵衛家文書」
- ・歴史資料課の窓から「科研と京都府行政文書」
- ・最近の収集資料から ・展覧会のお知らせ、古文書解読講座のご案内
- ・科研公開シンポジウムのご案内、友の会事務局から 他

No.153 (平19.10.1) 8頁

- ・太政官、東寺凡僧別当を任命
- ・第22回東寺百合文書展 ・文献課の窓から「100年前のビジネス支援サービス」
- ・歴史資料課の窓から「星変祈祷」
- ・最近の収集資料から ・府民講座のお知らせ、友の会事務局から 他

No.154 (平20.1.1) 8頁

- ・中国の「年画」 ・平成20年知事年頭あいさつ
- ・文献課の窓から「図書閲覧室の本の並べ方」
- ・企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」
- ・歴史資料課の窓から「陵墓管理と京都府」
- ・最近の収集資料から ・「東寺百合文書」第5巻を刊行、友の会事務局から 他

14 ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。平成16年4月1日からは、デジタルデータベース「京都北山アーカイブズ」のサンプル版も公開しています。

平成19年4月10日には、所蔵資料をホームページ上で展覧会形式で紹介する「デジタル展覧会」を新設しましたが、今年度も同様の形式でのホームページ公開に向けて、「京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎」展を作成しました。

また、平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行しています。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第14号	4月11日(水)	288	第23号	8月29日(水)	370	第32号	1月2日(水)	425
第15号	4月25日(水)	297	第24号	9月12日(水)	361	第33号	1月16日(水)	428
第16号	5月9日(水)	303	第25号	9月26日(水)	366	第34号	1月30日(水)	435
第17号	5月23日(水)	309	第26号	10月10日(水)	366	第35号	2月13日(水)	440
第18号	6月6日(水)	322	第27号	10月24日(木)	373	第36号	2月27日(水)	444
第19号	6月20日(水)	329	第28号	11月7日(水)	404	第37号	2月28日(水)	451
第20号	7月4日(水)	341	第29号	11月21日(水)	410	第38号	3月12日(水)	461
第21号	7月18日(水)	348	第30号	12月5日(水)	415	第39号	3月26日(水)	468
第22号	8月15日(水)	352	第31号	12月19日(水)	423			

15 無線LAN

京都府が整備した「京都デジタル疎水ネットワーク」の光ファイバー回線を活用し、NPO法人

が運営する「みあこネット」と連携して、平成15年10月23日から公衆無線インターネット接続サービスを開始しました。

平成17年4月1日から、運営主体が「京都アイネット(株)」に変更したことに伴い、アカウント発行方法が変更し、一日体験利用に限定したサービスを提供してきましたが、平成19年10月1日に運営主体となった「関西ブロードバンド(株)」が平成20年3月31日をもって「みあこネット方式公衆無線サービス」の提供を終了したため、公衆無線インターネット接続サービスを終了しました。

16 総合資料館友の会の活動

当館の事業に協賛する者によって、友の会が設置されており、本年度の会員数は322人でした。また、主な活動内容は以下のとおりです。

現地講座

5月29日に「青蓮院」において実施し、145人の参加がありました。

見学会

11月1日及び11月2日に湖南市の「善水寺」、近江八幡市の「近江八幡市立資料館」、「日牟禮八幡宮」、「かわらミュージアム」において実施し、100人の参加がありました。

総合資料館府民講座

館と共催で、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等をテーマとした「総合資料館府民講座」を7回開催しました。

展覧会の列品解説

第22回東寺百合文書展「日本史のなかの百合文書」の列品解説を10月4日に実施し、21人の参加がありました。企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」の列品解説を3月19日に実施し、13人の参加がありました。

「第6回古文書解読講座」の案内とテキスト送料の補助

館主催の「古文書解読講座」の開催通知を会員に送付し、テキスト送料200円を補助しました。

「総合資料館だより」の発行・配布

館と共同でNo.151からNo.154を発行し、会員に送付しました。

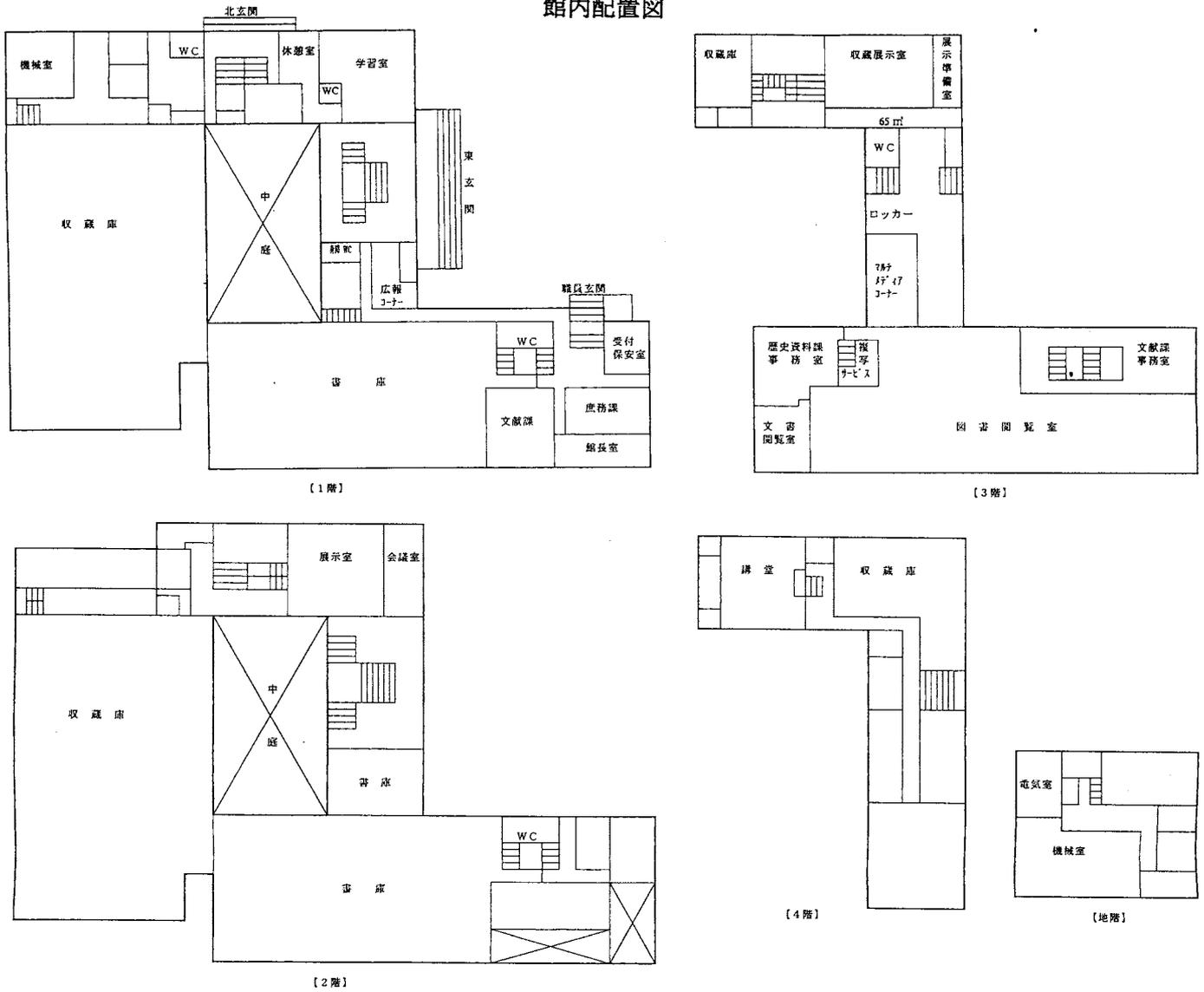
17 施設の状況

敷地面積	13,911.95㎡			
建物面積	4,501.57㎡	延	13,743.33㎡	
建設費	建物及び造園工事費	54,178万円	内部設備費	15,007万円
	計	69,185万円		
構造	造	鉄筋コンクリート	一部鉄骨	地上4階 地下1階

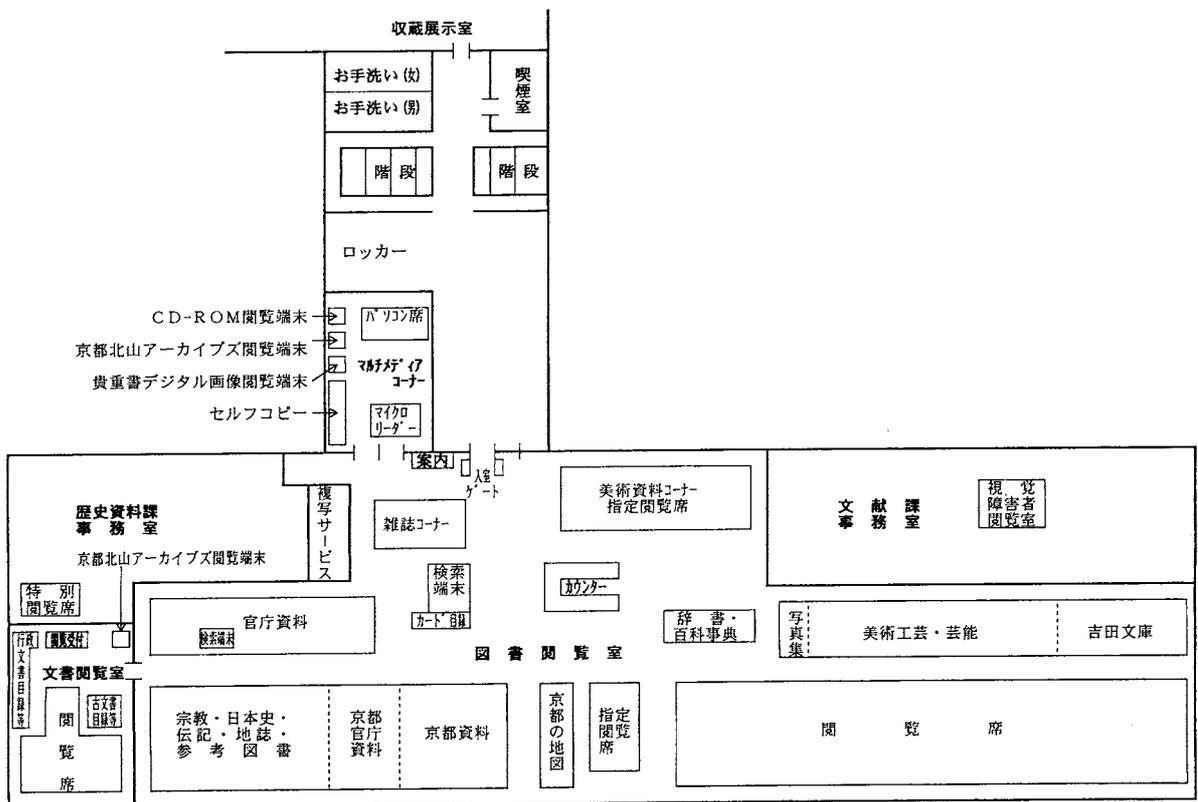
主要室の規模(平成19年3月31日現在)

1階	2階	3階	4階
学習室 189㎡	展示室 194㎡	図書閲覧室 975㎡	講堂 327㎡(350席)
書庫 1,089㎡	書庫 1,045㎡	文書閲覧室 85㎡	
風俗資料室 116㎡	収蔵庫 478㎡	マルチメディアコーナー 65㎡	
収蔵庫 1,014㎡	第三書庫 335㎡	収蔵展示室 255㎡	

館内配置図

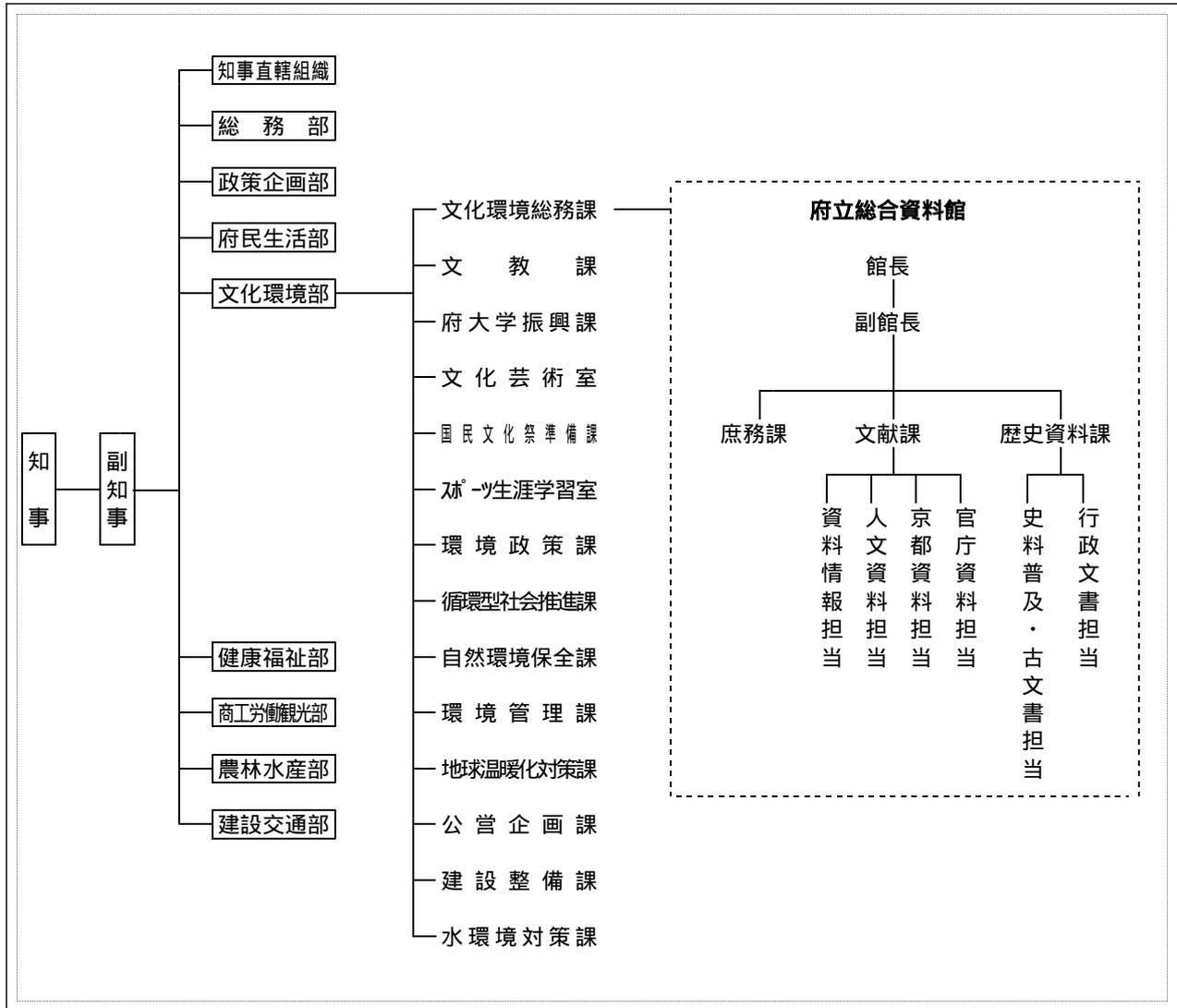


閲覧室配置図 (3階)



18 組織・業務分担・予算（平成20年4月1日現在）

(1) 組織



(2) 職員数

	職員	嘱託
館長		1
副館長	1	-
庶務課	11	-
文献課	17	9
歴史資料課	12	1
計	41	11

注 副館長は庶務課長事務取扱であり、 の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 庶務課

- 1 公印の保管に関する事。
- 2 規程等の制定改廃に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 広報及び文書事務等に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関する事。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関する事。
- 8 (財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関する事。
- 9 他課の所管に属さない事。

イ 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関する事。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 図書等資料の普及に関する事。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関する事。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関する事。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関する事。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

(4) 予算状況 (当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	11,390	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集保存展示事業	44,992	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	2,706	古文書、行政文書の収集・整理等
図書館情報ネットワークシステム運営事業	5,463	図書館情報ネットワークシステム運営事業
総合資料館館蔵資料保存・活用推進事業	2,000	展覧会、公開講座の開催等
歴史資料・公文書保存活用検討費	1,000	有識者等による研究会の設置

* 管理費除く

19 平成19年度の主な活動

平成19年

- 4月3日 行政文書周山文書庫へ備品搬入
- 4月13日 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(以下「全史料協」)近畿部会運営委員会(和歌山市)
- 4月17日 全史料協ICA/SPA運営委員会京都開催実行委員会(当館)
- 4月19日 京都府図書館等連絡協議会(以下「京図連協」)総会(京都府立図書館)
- 4月21日 綾部市郷土自主講座出講(綾部市中央公民館)
- 4月22日 日本アーカイブズ学会企画研究会出講(学習院大学)
- 4月26日 情報公開・個人情報保護窓口担当者会議(福利厚生センター)
- 4月27日 全史料協近畿部会役員会(兵庫県民会館)
- 5月2日 京丹後市市史編さん委員会近世・近代専門部会実地調査(当館)
- 5月9日 鴨沂高校同窓会資料調査(京都市内)
- 5月13日 立命館大学見学来館
- 5月13日 文書閲覧室閲覧案内(立命館大学)
- 5月15日～18日 ICA/SPA運営委員会(京都府公館、当館、平安会館)
- 5月16日 ICA/SPA運営委員会委員館内見学
- 5月18日 全史料協第1回役員会(府立植物園)
- 5月18日 国立公文書館館長館内視察
- 5月21日～6月1日 所蔵資料点検・整理等のため臨時休館
- 5月23日 第1回総合資料館あり方検討委員会
- 5月28日 行政文書(永年)移管作業(本庁 館)
- 5月29日 友の会現地講座(青蓮院)
- 5月30日 全史料協近畿部会総会及び第89回例会(神戸市)
- 6月5日～6日 全国公文書館館長会議(岡山市)
- 6月7日 京図連協広報委員会(京都府立図書館)
- 6月7日 国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会(国立国会図書館東京本館)
- 6月8日 全国公共図書館協議会総会(東京都立中央図書館)
- 6月8日 監査委員会定期監査
- 6月8日 公文書保存活用講座出講(新潟県立文書館)
- 6月11日 京都府職員文書主任研修出講
- 6月12日 第2回総合資料館あり方検討委員会
- 6月12日 京都府議会公明党議員館内視察
- 6月13日 京都府職員文書主任研修出講
- 6月14日 京都府職員文書主任研修出講
- 6月19日～20日 醍醐寺聖教調査(醍醐寺)
- 6月22日 近畿公共図書館協議会総会(大阪府立中央図書館)
- 6月24日 稲葉家文書調査(京丹後市)
- 6月26日 府民講座(第43回)

- 6月26日 第188回古文書相談
- 6月28日 国立水俣病総合研究センター調査来館
- 6月29日 京図連協研修研究委員会（京都府立図書館）
- 6月30日 科研全体研究会（当館）
- 7月4日 第3回総合資料館あり方検討委員会
- 7月5日 全史料協近畿部会第90回例会（大阪市）
- 7月5日 行政文書周山文書庫保存状況の確認
- 7月13日 京都市琵琶湖疏水記念館調査来館
- 7月14日～8月26日 収蔵品展
- 7月17日 第4回総合資料館あり方検討委員会
- 7月20日 府立大学日本近現代史演習（当館）
- 7月25日 府立大学文学部古文書演習（当館）
- 7月30日 第5回総合資料館あり方検討委員会
- 8月14日～8月31日 同志社大学図書館学実習生受入（6名）
- 8月20日～22日 稲葉家文書調査（京丹後市）
- 8月24日 著作権セミナー（岐阜県庁）
- 8月25日 科研費シンポジウム参加者館内見学
- 8月26日 公開シンポジウム「未来への遺産 - 重要文化財「京都府行政文書」の保存と活用 - 」を科研グループと京都府で主催（キャンパスプラザ京都）
- 8月28日～29日 醍醐寺聖教調査（醍醐寺）
- 8月30日 東洋大学大学院文学研究科演習（当館）
- 9月1日～18日 第6回古文書解読講座募集受付
- 9月5日 第16回京都図書館大会（同志社大学）
- 9月5日 第6回総合資料館あり方検討委員会
- 9月6日 京図連協広報委員会（京都府立図書館）
- 9月11日 府民講座(第44回)
- 9月14日 全史料協近畿部会第91回例会（和泉市）
- 9月15日 亀岡市古文書講座出講（亀岡市文化資料館）
- 9月18日～10月3日 古文書薫蒸
- 9月19日 国立国会図書館データベースフォーラム（国立国会図書館関西館）
- 9月19日 全史料協第2回役員会（東京都）
- 9月21日 奈良県立図書情報館視察研修来館
- 9月29日～10月28日 第22回国宝東寺百合文書展
- 9月29日～30日 京丹後市市史編さん委員会実地調査（府立丹後郷土資料館）
- 10月3日 府大ACTR研究成果報告会（京都府立大学）
- 10月11日 府民講座(第45回)
- 10月11日 行政文書周山文書庫保存状況の確認等
- 10月18日 京図連協研修研究委員会（京都国際まんがミュージアム）
- 10月18日 府民講座(第46回)
- 10月24日 国際公文書館会議東アジア地域支部セミナー[シンポジウム]（東京都）

10月25日	全史料協近畿部会第92回例会（京都市）
10月29日～31日	全国図書館大会（東京都）
11月6日	第6回古文書解読講座 初心者A・Bコース
11月7日～9日	第6回古文書解読講座 初心者Aコース
11月9日	国立公文書館研究連絡会議出講
11月10日	京都造形芸術大学見学来館
11月11日	府民講座(第47回)
11月13日	第6回古文書解読講座 初心者Bコース
11月15日～16日	第6回古文書解読講座 初心者Bコース
11月15日～16日	全国公共図書館サービス部門研究集会（沖縄県）
11月20日～22日	全史料協全国大会・総会・研修会（水戸市）
11月22日	第7回総合資料館あり方検討委員会
11月27日～30日	第6回古文書解読講座 一般Aコース
12月4日～7日	第6回古文書解読講座 一般Bコース
12月12日	全館消防訓練
12月13日	全史料協近畿部会第93回例会（当館）
12月19日	デジタルアーカイブ化現地調査（(株)行政、国立公文書館）
12月19日	民主党府議会議員団政務調査来館
平成20年	
1月10日	京函連協広報委員会（京都府立図書館）
1月12日	京丹後市市史編さん委員会近世・近代専門部会現地調査（府立丹後郷土資料館）
1月16日	行政文書周山文書庫文書搬入と保存状況の確認
1月17日	京都ノートルダム女子大学見学来館
1月23日	市町村地域資料保存・活用担当者会議（当館）
1月29日	府立大学文学部古文書演習（当館）
1月29日～30日	公文書館実務担当者研究会議（国立公文書館）
2月5日	全史料協近畿部会運営委員会（大阪市）
2月6日～7日	近畿地区公共図書館研修（奈良県立図書情報館）
2月20日～21日	全史料協第3回役員会（奈良市）
2月21日	国立国会図書館総合目録フォーラム（国立国会図書館関西館）
2月22日	レファレンス協同データベース参加館フォーラム(国立国会図書館関西館)
2月22日	全史料協近畿部会第94回例会（京都市）
2月27日	近畿府県公文書館等実務担当者研究会（和歌山市）
3月15日～4月13日	企画展「地域をむすぶ - 京都府の交通史 - 」
3月18日	府民講座(第48回)
3月23日	京丹後市市史編さん委員会近世・近代専門部会現地調査（京丹後市）
3月25日	府民講座(第49回)

20 沿 革

- 昭和34. 34年度予算に調査・準備費を計上
- 35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
 - 36. 12. 8 起工式
 - 37. 11. 10 定礎式
 - 38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
 - 38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙行。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
 - 39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
 - 39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3部9課となる）
 - 39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
 - 40. 4 京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
 - 41. 6 民謡調査を開始
 - 42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
 - 43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課となる）
 - 43. 11 昔話調査を開始
 - 45. 4 『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
 - 45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
 - 45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課となる）
 - 45. 9. 22 「館藏品陳列場」（現・2階展示室）を開設
 - 45. 12 資料の寄託制度を開始
 - 46. 1. 1 『資料館だより』創刊
 - 46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
 - 46. 7. 15 第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡）
 - 46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
 - 47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
 - 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課となる）
 - 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1,702.18㎡）
 - 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係となる）
 - 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
 - 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
 - 49. 4 有形民俗資料調査を開始

- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5 .26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係） 文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係となる）
- 51.10 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52.10 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6 . 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される。
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6 . 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される。
- 56. 9 .10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7 . 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4 .19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5 .18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58.10.14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4 . 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4 .14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される。
- 60. 5 .16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
- 61. 7 . 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
- 62. 5 .12 「古文書相談」を開始
- 63. 3 .29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
- 63. 4 .14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4 .18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係） 文献課、歴史資料課の3課2係となる）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9 .30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63.10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始

- 廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元.10.20 第1回「文化講座」を開催
- 2.10.8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3.5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4.4.1 日本図書館協会に再加入
- 4.7.1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5.4.1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
- 5.5.20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5.11.7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6.6.4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9.4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9.6.30 「東寺百合文書」が国宝に指定される。
- 10.3.31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10.12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11.4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
- 12.4 京都府20世紀資料整理事業を開始
- 12.9.30 「特別資料室」を閉鎖
- 12.10.1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12.12.28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13.3.23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される。
- 13.5.11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13.7.2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13.10.9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14.5.23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14.6.26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される。
- 14.7.19 当館のホームページを開設
- 14.11.26 「古文書解読講座」を開始
- 14.12 「京の文化振興プラン(その1) - 京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策 - 」策定
- 15.5.29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される。
- 15.11 開館40周年を迎える。
- 16.3.25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16.4.1 「総合資料館所蔵資料データベース - 京都北山アーカイブズ - 」の公開開始
- 19.12 総合資料館あり方検討プラン策定

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧(平成19年3月31日現在)

	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	18,642点	京都市南区の東寺(教王護国寺)に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約900年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来文 書典籍類	57点	東寺の院家である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。 なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。 鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館(佐々木もと子館長)から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟禪文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。